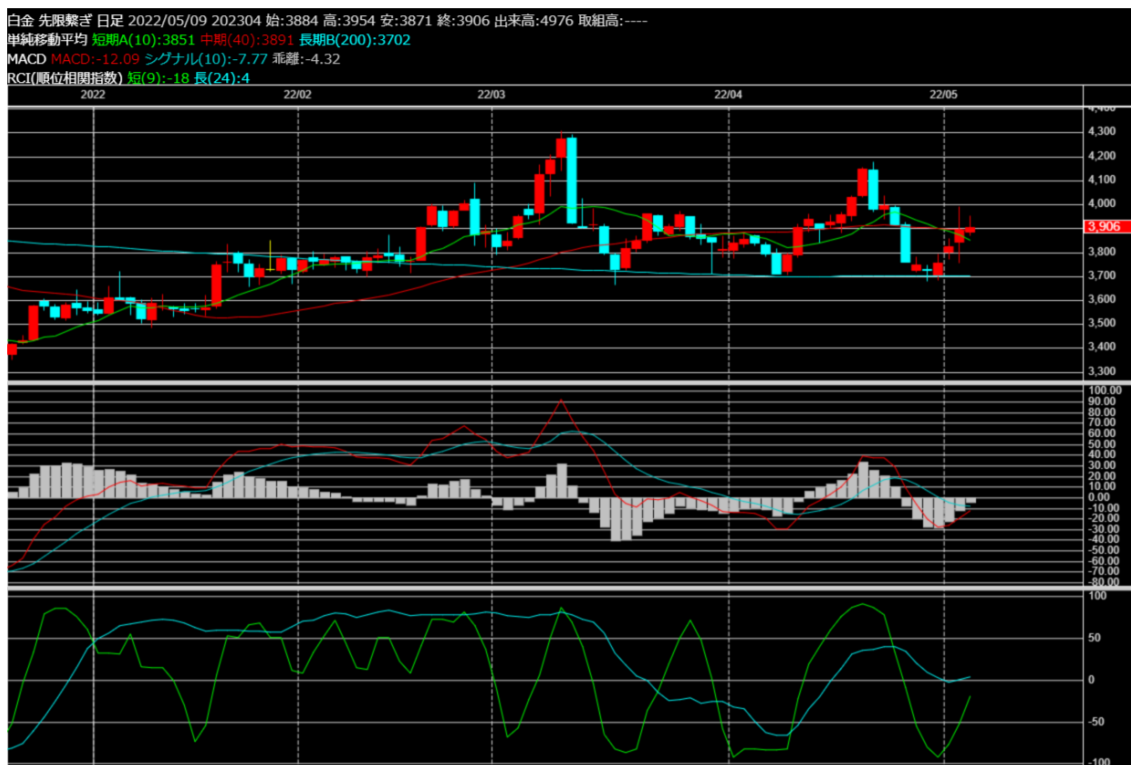


<白金標準先物、ロシア資源、制裁企業向けの輸出禁止・・・>



(出所：オアシス)

ロシア政府は、ロシア政府や企業に対する制裁を科している非友好国の企業や個人に対する物品や資源の輸出の禁止を発表している。この事はロシア国内で資源を活用する企業の育成を狙った処置であるが、即効性はなく数年が必要である。

また 16 日に JM 社は 2022 年 PGM 市場レポートを発表する予定である。前回の 2021 年 5 月の発表では、2021 年の需給バランスは 19.1 トンの供給過剰を予想していた。しかしロシア軍のウクライナ侵攻を受けた西側諸国の対ロシア経済制裁処置は、LPPM の認定削除や欧米の領空の飛行禁止空域処置など、ロシア産の PGM を排除する動きを取っている。

また PGM 供給の南アフリカでは、新型コロナウイルス感染症を受けアングロアメリカプラチナやインパラプラチナムは生産量が低下し、世界第 1 位のプラチナ鉱山であるシバニースチールウォーターは金鉱山でストライキが 2 ヶ月実施されるなど、今年プラチナ鉱山での賃金交渉にも悪影響を与える動きである。そのため昨年 5 月に発表した 19.1 トンの供給過剰は改善される可能性が高く、発表を機に 4000 円を超える可能性も期待される。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇しながら、**シグナル**を上回る確率が高まりを見せ、RCI でも**短期**が上昇し、**長期**も切り上げるなど強気を示す動きを見せている。特に日足が **10 日移動平均線**を超えて **40 日移動平均線**も上回る動きを見せており、強気の域と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,067,000 円(2022 年 5 月 9 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2022 年 5 月 9 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>